

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立伝法小学校

令和 7 年 1 0 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 令和6年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答した児童の割合は81.2%。
- 令和6年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答した児童の割合は29.5%。
- 令和6年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50.3%（10月以降、2月末まででは、70.3%）

中期目標（令和7年度末まで）

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を30%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。

2 年度目標（中期目標の達成に向けて）

全市共通目標・学校の年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（84.5%）以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（79.2%）以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 令和 7 年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。
- ・ 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度（72.8%）以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 80% 以上にする。（前年度 50.3%）
- ・ 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 100% 以上にする。（前年度 96.2%）

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立伝法小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（84.5%）以上にする。 令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（79.2%）以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【本市基本計画番号 1－1 いじめへの対応】 「いじめについて考える日」の取組や、アンケート等の実態把握、自己有用感を高め自他の尊厳を認め合う学習活動を通して、いじめを許さない集団づくりに努める。		B
指標 「いじめについて考える日」の取組を年 1 回、いじめアンケートを年 3 回、他学年とのメッセージ交換をする「ぼかぼかの木」を各学期 1 回実施する。		
取組内容②【本市基本計画番号 1－2 不登校への対応】 「心の天気」、「アセス」、スクリーニング会議、家庭訪問、スクールカウンセラー等を活用し、子どもの困り感に応じた丁寧な対応と、情報共有、不登校の早期対応・解消に努める。		B
指標 不登校の未然防止や早期対応・解消に向けた教員間の情報共有を月 1 回実施する。		
取組内容③【本市基本計画番号 1－3 問題行動への対応】 毎朝、校門前であいさつ指導や、児童会の「あいさつ運動」を実施し、自ら進んで気持ちのよいあいさつができるようにするとともに、規範意識や自律の意識を高める。		B
指標 「あいさつ強化週間」を年 3 回実施する。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<p>①「いじめについて考える日」は各学級でいじめについて考える機会を設けることができた。いじめアンケートは計画通り実施しており、実施後は各学級で担任が丁寧に聞き取りを行い、対応することができている。自己有用感を高める取り組みとして、デンリンピックや運動会で他学年の良かったことを「ぼかぼかの木」に表すことができおり、メッセージを読んで微笑む児童の姿が見られた。また、「特技集会」では友だちの得意なことを見て、それを認めることができている。</p> <p>②職員会議後に各学級の児童の様子を共有したり、「心の天気」で気になる児童には、声かけをし、様子を見守ったりしてきた。8月には、「アセス」の研修会を行い、活用法や児童の実態について理解を深めた。また、家庭訪問や保護者との連絡を丁寧に行ったことで、登校する日が増えた児童もいた。</p>		

③あいさつ運動をすることであいさつに対する意識の高まりがみられるが、あいさつ運動期間外は、「自ら進んで気持ちのよいあいさつ」する児童は少なく、会釈だけする児童もいる。

後期への改善点

- ①引き続き「ぽかぽかの木」や「特技集会」を実施する。また、チャレンジタイムで名人になった子どもや読書量の多かった子どもの名前を掲示することで、自己肯定感の向上を図る。
- ②日々の児童の観察とあわせて、心の天気・アセスを活用し、不登校の未然防止や早期対応・解消に向けて取り組んでいく。
- ③あいさつ運動の取り組み内容を工夫する。掲示物やポスターなど日々意識してあいさつができるような取り組み内容にしていく。

大阪市立伝法小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を30%以上にする。 令和7年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 令和7年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度（72.8%）以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容① 【本市基本計画番号４－２ 「主体的・対話的で深い学び」の推進】 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につながる授業研究会を全学年で年間１回以上行い、学力向上につながる指導力の向上に取り組む。		B
指標 各教員において研究授業を年間１回以上実施する。また、指導力向上に向けた校内研修会を年１回以上実施する。		
取組内容② 【本市基本計画番号４－１ 言語活動・理数教育（思考・判断・表現）の充実】 始業前や「伝法タイム」を活用して読み・書き・計算などの基礎的・基本的な知識・技能を着実に身に付けさせるとともに、家庭学習も含めた学習習慣の定着を図り、学力向上を目指す。		B
指標 音読タイムと読書タイムを週１回、２・３年対象の放課後学習を週２回以上、でんでん漢字検定を学期１回実施する。		
取組内容③ 【本市基本計画番号５－１ 体力・運動能力向上のための取組の推進】 子ども困り感に目を向け、体づくりを軸にした運動を体育科や日々の生活の中に取り入れ、体力・運動能力の向上に努める。		B
指標 運動に触れる機会につながるチャレンジタイムとデンリンピックを年間１回以上実施する。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
① 計画的に研究授業や公開授業、校内研修を実施することができている。 ② 全学級で音読タイムや読書タイムを設けている。音読タイムでは、繰り返し声に出して読むことで、授業中の音読の声が出るようになってきた。家庭学習については、学期に		

<p>1 回家庭学習力 UP 週間を設けることで学習習慣の定着を図り、児童の学力向上に取り組んでいる。</p> <p>③ 計画的にチャレンジタイムやデンリンピックを行うことができている。チャレンジタイムがあることで、普段教室で過ごしている児童も運動場へ出て、一生懸命に取り組んでいる。</p>
後期への改善点
<p>① 研究授業（小授業）後の討議会の参加者が少ないことがある。小授業の時でも、可能な限り授業を参観したり、討議会に参加したりするように声かけをする。</p> <p>② 全学級で音読タイムや読書タイムを設けているが、学級によって実施時間に差がある。音読タイムや読書タイムが始まる前に放送を入れるなどの工夫をしていきたい。</p> <p>③ 運動場の割り当てがある時は、外で体を動かすことができている。しかし、割り当てがない時は、タブレットを使用していることが多いため、教室でもできる体づくりにはどのようなものがあるのかを検討していきたい。また、体力テストの結果分析を職員全体で共有するなどして、児童の体力・運動能力の向上に努めるようにする。</p>

(様式2)

大阪市立伝法小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。(前年度 50.3%) ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%以上にする。(前年度 96.2%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【本市基本計画番号6－1 ICTを活用した教育の推進】 朝学習・家庭学習・心の天気等において、学習者用端末を活用し、個別最適な学びと、協働的な学びの質の向上をめざす。	B
指標 学習使用者端末を学習時や伝法タイム等において毎日活用する。	
取組内容② 【本市基本計画番号7－1 働き方改革の推進】 長時間勤務の解消を通じ、教職員が子どもたちの前で健康で生き生きと働くことができ、子どもたち一人一人に向き合う時間を確保する環境の実現をめざす。	B
指標 学校閉庁日を設けたり、教職員間でのフォロー体制を整えたりすることで、年次有給休暇を取得しやすくする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 学年に応じて学習者用端末を心の天気、コグトレ、ナビマ、調べ学習、タイピング、アンケートなどに活用している。一方で、家庭学習では活用できていない。	
② 個人懇談会の後や8月中を4時間授業に設定することで、宿題の点検や会議などの時間を確保することができた。教職員間でフォロー体制も整っているため、年次有給休暇を取得しやすい環境になっている。	
後期への改善点	
① 数ある学習ソフトの使い方を指導者が理解・習得するために、共有できる機会（研修会など）を設ける。また、家庭での学習者用端末のより良い使い方を検討し、実施していく。	
② 他校の働き方改革の実施例も参考にしながら、伝法小にとってより良いものを検討していく。	